

報 廣 しばた

4

2012 April
No. 606 since 1961

あの苦しみ哀しみを癒してくれる
先人から受け継がれ
守り育ててきた「桜」がそこにある。

しばた桜まつり

開催期間 4月6日(金)～4月22日(日)

※開花状況により期間延長



柴田町太陽の村



陸上自衛隊船岡駐屯地



船岡城址公園



白石川堤

創造力と交流連携を基軸に

町政を1歩も2歩も前進



3月5日から15日までの日程で、平成24年柴田町議会第1回定例会が開かれ、滝口茂町長が開会初日に、町政運営の基本となる施政方針を述べました。※施政方針の全文は町ホームページへ掲載しています。

東日本大震災からの復興

大震災は、便利さや効率性を追い求めた社会がいかにもろいかを露呈させました。一方で、全国規模で献身的な救助活動や支援活動が繰り広げられ、ボランティア活動の輪も広がりました。

私たちは、大震災を機に従来の生き方や働き方、社会の仕組みをゼロから問い直していかねばなりません。

せん。

震災後の新たな国づくりや社会づくりは、自然と共に生きてきた東北人の生き方や、人と人が助け合い分かち合って暮らしてきた東北の地域共同体がモデルになるでしょう。

今後、しばらく困難な道のりが続くと思います。「絆」や「助け合い」など協働の力で、東北の復興、日本の再建を果たすべきだと考えます。

平成24年度の

政策目標

コンパクトシティ構想の

実現に向けた先行投資

1 未来の創造都市をイメージしたコンパクトシティ構想の実現に向けた先行投資を行い、新たな需要を創出して、地域の発展に努めます。

生活機能が集積した新たな中心拠点に位置づけている「船岡新栄周辺」と不二トッコン跡地の利用について、拠点強化を図る意味からもスポーツ・文化ゾーン整備可能性調査を行い、総合体育館や図書館の建設についての可能性を探ります。また、(仮称)子ども総合センターの基本的な考え方をまとめていきます。調査研究には、多くの町民や関係者の参加の下に、議論し身の丈にあった魅力的な公共施設を整備していきます。

「花のまち柴田」による 観光まちづくり

2 「花のまち柴田」による観光まちづくりを復興の基本に据え、交流人口を増やすことで、まち中への集客を図り、地域経済の活性化に結びつけていきます。

観光物産交流館「さくら」の里」での新鮮な産直野菜や花き販売、軽食喫茶を提供する「コミュニティカフェ」「コミュニティガーデン」の丘柴田」「樅ノ木は残った展望デッキ」など、にぎわいと交流の場を提供し、観光資源のPRを柴田町観光物産協会と連携しながら推進します。

4月から「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」実施されることから、プロモーション活動を積極的にを行い、町の魅力を全国に情報発信していきます。船岡城址公園は新しいタイプの観光地として、観光のプロや旅行会社からその

潜在力を高く評価されています。さらに、新名所となる（仮称）さくら連絡橋を加えることで、海外からのツアー客の誘致にも弾みがつくものと思います。

3 積み残された課題の解決など

■自然災害に強い安全なまちづくり

西住地区などの浸水被害解消に向け、鷺沼排水路の整備を大河原町と共同で実施します。また、槻木地区の五間堀川のしゅんせつや館前水門の改修を県に依頼し、槻木地区の冠水被害防止に努めるほか、局地的な浸水被害対策も進めていきます。

■安全で快適な

■教育環境の整備

槻木中学校の校舎改築工事を平成25年2月までに完成。また、船迫小学校の大規模改造工事に着手するとともに、船岡小学校の大規

模改造工事、槻木小学校・船迫小学校プール改築に向けて準備を行います。

■安心なまちづくり

新たに放射能対策に除染を盛り込みました。また、町民の健康や体力づくりのきっかけに、7月29日、仙台大学を会場に、NHKの「夏期巡回ラジオ体操」を開催します。さらに、外出機会が少なくなった交通弱者のために、デマンド型乗合タクシーの導入を図ります。道路整備では、平成22年度に着手した町道四日市場1号線・上名生3号線の改良が完了します。さらに、仙台市などへの広域アクセス化を図るため、町道富沢16号線の道路用地取得と一部工事に着手します。

■環境保全の推進

町民の憩いの場や交流の場となる公園については、ワークショップなどを開催しながら船岡新栄4号公園や槻木生月公園を整備していきます。



「未来への投資元年」と位置付け 次なる発展のステージに導く 政策に重点を置く

主な施策の概要

1 美しい都市空間の整備

■快適な生活空間の整備

道路整備については、震災後の道路復旧66カ所の整備に全力を挙げ、引き続き町道船岡東43号線や町道入間田30号線の延伸を図るほか、船岡・槻木地区の劣化が著しい生活道路の改修に取り組みます。

水道事業では、老朽管対策の整備を実施。施設の管理運営も万全を期していきます。

下水道事業は、災害復旧事業を最優先に取り組みます。老朽管の更新計画に伴う調査設計は、「引き続き「下水道長寿命化支援制度」を活用して実施します。

■歩きたるなる

■街並みの形成

船岡城祉公園山頂におけるコミュニティガーデン

や観光施設、「樫ノ木は残った展望デッキ」からの眺望は大変好評で、予想を超える来訪者を誘発し、町民にもウォーキングコースとして、利用されるようになりました。さらに、魅力を高めるために、社会資本総合整備計画（市街地整備）により、遊歩道のバリアフリー化や北側園路の整備を進めます。特に、（仮称）さくら連絡橋は、町の観光を全国レベルに押し上げるシンボルとなるもので、工事に向けた詳細設計に取り組みます。また、一目千本桜の景観形成を図る「白石川堤外地環境整備」の実施設画や「公園施設長寿命化計画」の策定にも着手し、交流の場を整備します。

■環境保全の推進

改めて、循環型社会の形成に向け、7月から家庭ごみの有料化に取り組みます。原発事故による放射能汚染の不安は払拭されています。

せん。比較的高い放射線量がある場所の除染を実施し、放射線量の低減に努めます。また、食品の放射線濃度の測定、空間放射線量の継続的な測定を実施し、不安の解消に努めます。

■農村空間の保全と

里山景観の再生

農村集落の自治能力を高め、再び活力を回復させるため農地・水保全管理支援交付金事業に取り組みます。里山ハイキングコースでは、案内板、道標の整備や里山を案内する人材を養成し、農村と都市との交流によるエコ・ツーリズムを推進します。

太陽の村は、「太陽の村交流拠点再生化計画」を進めながら、柴田町観光物産協会と連携し、にぎわいのある交流広場づくりに努めます。

2 教育・文化・交流都市の創造

■学び合う教育環境の充実

学校関係者による学校評価を実施するとともに、地域住民、保護者が一定の権限を持つて学校運営に参画する学校運営協議会の推進を図ります。

大震災を踏まえ、新たに防災主任を全小中学校に配置し、防災教育の体制づくりに努めます。また、夏季休業期間などに学習指導を行う「学びの支援員」を配置して、児童生徒の学力向上、学習意欲の向上を図ります。

いじめ・不登校などの対応として、町内全校に自立支援相談員を配置し、問題を抱える生徒を支援します。

■青少年の健全育成

今年も、子ども会育成会と連携して「子どもフェスティバル」を開催し、創造性豊かな児童の育成に努めます。

ます。また、小学校高学年を対象に、「合宿通学事業」や「野外体験事業」などを実施します。

■生涯学習・スポーツ・文化活動の推進

家庭・地域・学校が協働で子どもたちを育てる環境づくり、住民の生きがいとやりがいづくりを同時に推進するため、「協働教育推進事業」の仕組みづくりに取り組みます。また、体育施設整備基本構想研究会を立ち上げ、「体育施設整備基本構想」を策定します。さらに、柴田町図書館では、将来の図書館建設の調査研究に着手します。新たに、図書検索システムを導入し、インターネットで蔵書・貸出状況を検索できるようにします。

■タウンセルスの推進

住民と協働で作成した「花のまちイメージキャラクター」や「町内の観光ル

ト」を活用して、タウンセルスを展開し、「花のまち柴田」のブランド化を進め、町の知名度とイメージの向上を図ります。

3 安心ネット・

地域防災の整備

■健康づくりの推進

新たに大腸がん検診・肝炎ウイルス検診の無料クーポン事業や食育イベントを実施するとともに、子宮頸がん等ワクチン接種費用の全額助成を実施します。

さらに、「健康づくりポイント制度」の調査研究、町民の健康増進を図るための「第2期健康しばた21」や「第2期食育推進計画」の策定に取り組みます。

■地域医療・救急体制の整備

みやぎ県南中核病院では、4月から企業長による新たな病院経営となります。また、平成25年度に「救命救急センター」「腫瘍センター」

の運用開始を予定していることから、地域の医療機関と役割分担・機能連携を図り、地域医療や救急医療の向上に努めます。

■誰もが安心して暮らせる福祉の推進

成年後見制度サービスや相談支援体制の強化を図ります。また、新たに策定した高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画の推進により、「地域包括ケアシステム」の実現に取り組みます。

■子育て・子育て支援の充実

新たに「ひろば型」事業として、民間の力を活用した「子どもの広場運営事業」を単独の「地域子育て支援事業」として実施し、国の適用事業を目指した交流の場の増設に取り組みます。幼児保育型児童館の廃止については、平成24年度前期に条例改正の提案を行い、廃止後の柴田児童館は私立幼稚園に、三名生および西

住児童館は学童型児童館とする計画で進めていきます。

■地域防災力の向上

大震災を教訓に、優先開設避難所の設定と災害時の防災備品を充実します。

消防署、消防団、婦人防火クラブ連合会、事業所等との連携を図りながら、火災発生の防止や消火活動に努めます。

冠水発生地区には、常設ポンプや仮設ポンプを配備して冠水解消に努めます。また、槻木地区は、槻木四日市場地内用水路へ分水門を設置し、四日市場排水機場への排水誘導することで、冠水被害の軽減を図ります。

■交通安全・防犯対策の推進

警察、交通指導隊などと連携し、街頭指導や交通安全施設整備など、各種交通安全対策を行います。

防犯対策では、防犯実動隊を中心に、防犯教室やパ

トロールなどを行います。

■公共施設の整備

北船岡町営住宅2号棟8階建47戸の建設工事を継続し、平成24年12月の完成を目指します。

4 地域循環型経済の推進

■農商工連携によるものづくり

地元産の農作物を有効に活用した地域ならではの地場産品の開発や販路・顧客の拡大を行い、新たなサービスタ提供を農商工連携の下に取り組んでいきます。

■地域産業の活性化

原発事故に伴う風評被害が懸念されることから、平成24年産米放射性セシウム吸収抑制事業を実施します。米以外の農林産物も県などと連携し検査の強化を図り安心安全な食糧の供給に努めます。

農業振興については、し

ばた食と農の町民条例および基本計画の制定を目指します。また、大震災により甚大な被害を受けた用排水路を中心に、柴田町土地改良区と連携し復旧・復興に取り組みます。

林業振興については、特定間伐の実施を促進し、森林の適正な整備を図るとともに林道の維持管理に万全を期します。

商業の振興については、商店街マップを有効活用するとともに、中小企業者等金融対策事業により、資金融資を行います。

工業の振興では、企業誘致活動を展開するとともに、特に、大震災に係る復興特区法に基づく民間投資促進特区制度を活用した企業誘致活動を図ります。

■労働・雇用対策の充実

大震災による被災者や離職を余儀なくされた非正規労働者・中高年齢者等の失業者に対して、震災等緊急

雇用対応事業を継続実施し、新たな雇用創出に取り組みます。

町内企業の雇用対策については、各種支援の情報を提供し雇用の拡大と安定に努めます。

5 住民参加と自治活動の実践

■参加と協働、地域コミュニティ活動の推進

まちづくり推進センターを地域づくりの拠点として位置付け、情報の発信・共有や人材の育成に積極的に取り組み、参加と協働によるまちづくりを実践していきます。また、全ての行政区で地域計画が策定されるよう、説明会の開催、情報提供などを通じて支援を行います。

■男女共同参画社会と人権啓発の推進

4月に施行する「柴田町男女共同参画推進条例」に

より、住民や各種団体などと連携を図りながら、男女共同参画を推進していきます。

人権啓発については、相談体制の充実を図るなど、住民の人権が尊重されるまちづくりを推進します。

■行政経営改革の推進

時代を担う人材の確保や研修などにより、さらなる活力と組織力の向上に努めます。

■情報の共有と情報化の推進

防災・健康・子育てなどの分野においてICT(情報通信技術)を活用し、住民サービスの向上を図ります。

■広域行政の推進

仙南地域広域行政事務組合と連携し、住民生活の向上のための事業運営を図ります。特に、(仮称)仙南クリーンセンターについては、平成28年度の完成を目指し、協議を行います。

一般会計

歳入

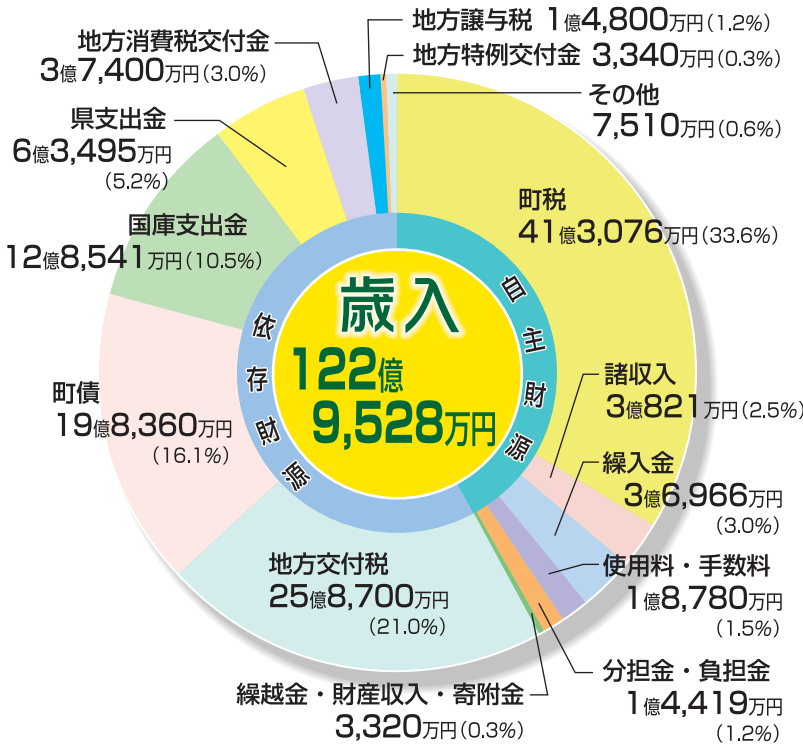
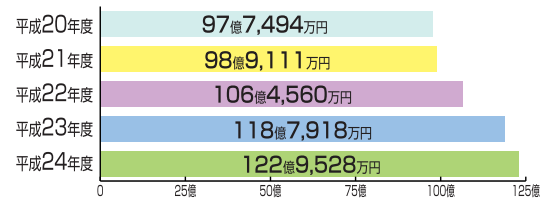
町の歳入は、町が自ら確保することができる町税や使用料・手数料などの「自主財源」と、国や県より定められた額を交付や割り当てられる「依存財源」に区分されます。

主なものとして、自主財源で最も多いのは、皆さんから納めていただく町民税や固定資産税、法人町民税などの町税で、41億3076万円と全体の33.6%を占めています。固定資産税の税収が落ち込み、前年度と比べ7455万円（1.8%）の減額となります。一方、依存財源で最も多いのは、町の財源力に応じて国から交付される地方交付税の25億8700万円で、全体の21.0%を占めています。

平成24年度予算の内訳

会計区分	平成24年度	平成23年度	対前年比
予算総額	214億2,365万円	209億1,287万円	2.4%
一般会計	122億9,528万円	118億7,918万円	3.5%
特別会計	77億7,369万円	76億6,865万円	1.4%
国民健康保険事業特別会計	39億204万円	36億9,366万円	5.6%
公共下水道事業特別会計	13億4,173万円	15億403万円	△10.8%
介護保険特別会計	21億9,414万円	21億6,880万円	1.2%
後期高齢者医療特別会計	3億3,578万円	3億216万円	11.1%
水道事業会計	13億5,468万円	13億6,504万円	△0.8%

一般会計の推移



特集2
平成24年度

予算の概要

町の将来を見据えた財政運営

一般会計予算総額

122億9528万円に決まる。

平成24年4月から平成25年3月までの1年間、町が何にどれだけお金を使うかを定めた「平成24年度当初予算」が3月の議会で成立しました。

今年の予算は、学校施設などの整備や幹線道路、市街地整備事業などの大型事業への取り組みが始まるため、平成23年度と比べ3.5%を増額し、新たなステージへ駆け上がるための町づくりを進める予算編成を行いました。

◎詳しくは、各事業の内容をわかりやすく説明した冊子「よくわかる町の仕事と予算」を7月に各家庭に配布する予定です。

歳出

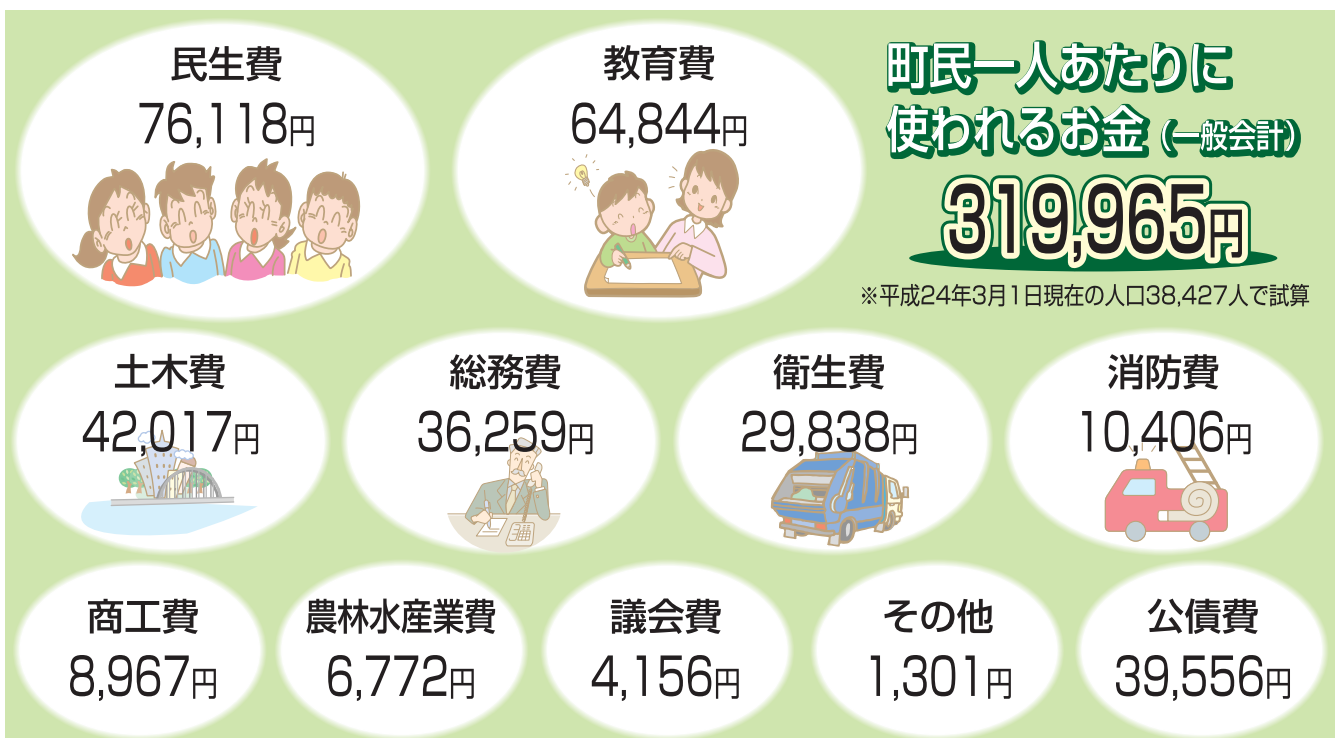
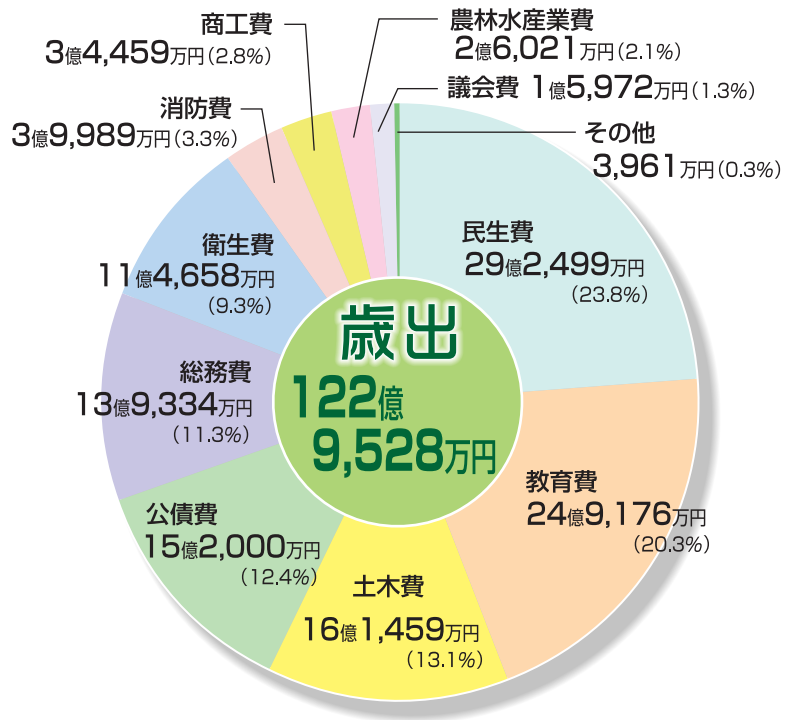
町の歳出で最も多いのは、高齢者や児童、障がい者などの福祉や医療に使われる民生費で、29億2,499万円と全体の23.8%を占めています。前年度と比べ1億6,827万円（5.4%）の減額となります。

次に、教育費の24億9,176万円（20.3%）を占めます。これは、槻木中学校の校舍改築工事を引き続き年度末の完成に向けて進めるとともに、懸案事項のひとつだった船迫小学校の大規模改修事業などを行う費用を計上しています。

土木費につきましては、社会資本総合計画に基づく市街地整備として、船岡町址公園の整備費、北船岡町営住宅2号棟の建設費、16億1,459万円を計上しました。

歳出を分類別に分類すると…

区分	平成24年度予算	対前年比
人件費	24億7,149万円	△1.7
物件費	19億3,294万円	△2.1
維持補修費	3,028万円	△72.6
扶助費	12億7,723万円	△6.0
補助費等	15億3,991万円	9.4
投資的経費	19億7,730万円	41.9
公債費	15億2,000万円	△3.6
積立金	56万円	△53.8
貸付金	8,150万円	56.7
繰出金	14億4,907万円	△1.9
予備費	1,500万円	0.0
合計	122億9,528万円	3.5



空間放射線測定結果

定点測定地の測定結果【測定日：3月19日(火)】

(単位：μ Sv/h)

	測定値		測定値
柴田町役場	0.11	船岡生涯学習センター	0.15
槻木生涯学習センター	0.10	船迫生涯学習センター	0.10
農村環境改善センター	0.13	西住公民館	0.11

※柴田町役場と槻木生涯学習センターは毎日、そのほかの施設は毎週1回測定

町内小中学校・幼稚園の測定結果【測定日：3月21日(水)】

(単位：μ Sv/h)

	測定値		測定値		測定値
船岡小学校	0.14	船迫小学校	0.19	西住小学校	0.18
東船岡小学校	0.22	槻木小学校	0.15	柴田小学校	0.10
船岡中学校	0.17	船迫中学校	0.21	槻木中学校	0.15
第一幼稚園	0.25	浄心幼稚園	0.17	たんぼ幼稚園	0.17
熊野幼稚園	0.10				

※毎週1回測定。私立幼稚園は随時測定

児童福祉施設の測定結果【測定日：3月22日(木)】

(単位：μ Sv/h)

	測定値		測定値		測定値
船岡保育所	0.25	槻木保育所	0.17	西船迫保育所	0.21
柴田児童館	0.16	三名生児童館	0.20	西住児童館	0.20
船迫児童館	0.22	むつみ学園	0.16		

※毎週1回測定

公園の測定結果【測定日：3月19日(月)】

(単位：μ Sv/h)

	測定値		測定値		測定値
並松公園	0.28	白幡児童遊園	0.18	剣崎公園	0.21
下名生児童遊園	0.24	館前緑地	0.22	船岡城址公園	0.13

※毎週1回測定

【測定場所】 定点測定地／駐車場など屋外 公園／広場
学校施設・児童福祉施設／校庭または園庭

【測定位置】 地表から100cm／定点測定地、中学校
地表から50cm／小学校、幼稚園、児童福祉施設、公園

県内における事故前の放射線量【仙台市】

(単位：μ Sv/h)

平成21年度の範囲	0.0176～0.0513
-----------	---------------

※保健環境センター（仙台市宮城野区幸町）のデータ

放射線測定値についての参考情報

(単位：μ Sv/h)

身近な事例	放射線量
胸部X線コンピュータ断層撮影検査（CTスキャン）	6900
胃のX線集団検診（1回の検査）	600
東京からニューヨーク航空機旅行（往復）	200
胸のX線集団検診（1回の検査）	50

※放射線情報サイトみやぎより

町では、平成23年5月9日から空間放射線量を測定しています。定点測定として、柴田町役場と槻木生涯学習センターの駐車場を毎日測定しているほか、生涯学習施設4カ所、野外運動場4カ所、学校施設など13カ所、保育所や児童館などの児童福祉施設8カ所、公園6カ所、集会所8カ所の合計45カ所で毎週測定をしています。

測定した結果については、町ホームページで随時公表しているほか、お知らせ版などで公表しています。

定点測定のほか、町民の不安を解消するため、要請のあった方の自宅などを町職員が直接訪問し、測定を行っています。

放射線・放射能への取り組み

安心した暮らしのために

昨年3月11日に起きた巨大地震を起因とする、福島第一原子力発電所の事故。この事故により、放射性物質が飛散し、町内でも放射線量が計測され、放射能汚染による安心した暮らしが脅かされています。これまで、町では放射線を正しく理解していただく

ために講演会を開催したほか、放射線量の測定や放射性物質の測定を行い、広報紙などでお知らせしてきました。今月号では、最新の測定結果に合わせて現在の取り組みをお知らせいたします。

1
空間
放射線量

厚生労働省が定める食品の新たな基準値

(単位：ベクレル/kg)

○これまでの暫定規制値

飲料水	200
牛乳・乳製品	200
野菜類	500
穀類	
肉・卵・魚・その他	

○4月1日からの新基準

飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100
乳児用食品	50

食品などの放射能測定件数【測定期間：3月1日(木)～15日(木)】

(単位：件)

品目	町内	町外	計	品目	町内	町外	計
米	3	15	18	たまねぎ	1	—	1
はくさい	4	—	4	だいこん	1	—	1
ねぎ	2	—	2	ほうれんそう	1	—	1
じゃがいも	1	2	3	みず菜	1	—	1
キャベツ	2	—	2	はぜ(魚)	1	—	1
				合計	17	17	34

※すべて放射性ヨウ素、放射性セシウムともに不検出

学校・保育所給食は毎週測定。消費者庁から貸与を受けた放射能測定器により、1月から学校や保育所の給食に使用される食材の放射能測定を行っていき、測定は、毎週1回、事前に検査

学校・保育所給食は毎週測定

が必要と考えられる「飲料水」、「乳児用食品」、「牛乳」は区分を設けて、それ以外を「一般食品」として、全体を4つに分けてそれぞれに新たな基準値が設定されました。

3月15日までに34検体の検査を行いました。いまのところ、検査したすべての食品は測定器の検出下限値(30ベクレル)を下回り不検出となっています。測定後、利用された方には、安心してお帰りいただいています。

自家消費の食品なども測定。一般の方々が持ち込む食品などの放射能測定については、3月から測定が開始されました。電話での予約日程が確認されれば、1人当たり1検体の食材を1kgお持ちいただき、約20分で検査が終わり、その場で結果を説明しています。

自家消費の食品なども測定

を実施しています。これまでの測定結果は、測定器の検出下限値(30ベクレル)を下回り不検出となっています。保護者の皆さまには、検出された数ベクレルの値を参考値としてお知らせしています。

県では、昨年5月から農林産物の放射能測定を行っています。2月と3月の測定結果では、丸森町の原木しいたけ(露地)から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出され、出荷停止の指示が出されています。また、この他の原木しいたけからは、暫定規制値を下回るものの4月1日からの新基準値を超える放射性セシウムが検出されています。それ以外の農林産物は、放射性ヨウ素・放射性セシウムともに不検出となっています。一部に不安な要素が残るものの、一定の安全性が確認できます。

原木しいたけが規制値を上回る

農林畜産物の放射能対策

2 食品などの放射能測定

食品中の放射性物質についての新たな基準。厚生労働省が定める食品に含まれる放射性物質の新たな基準が4月1日から施行されました。これは、より一層の食品の安全と安心

を確保する観点から、これまでの暫定規制値で許容していた年間5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに基づく基準値に引き下げたものです。具体的には、特別な配慮

を確保する観点から、これまでの暫定規制値で許容していた年間5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに基づく基準値に引き下げたものです。

3 農林畜産物の放射能対策

農林産物の放射能測定結果【採取日：2月1日(水)～3月9日(金)】

(単位：ベクレル/kg)

品目	採取日	採取場所	放射性セシウム
ねぎ(ハウス)	2月1日	柴田町	不検出
原木しいたけ(ハウス)	2月6日	大河原町	290
はくさい(露地)	2月9日	大河原町	不検出
いちご(ハウス)	2月15日	角田市	不検出
いちご(ハウス)	2月15日	丸森町	不検出
はくさい(露地)	2月16日	柴田町	不検出
原木しいたけ(ハウス)	2月21日	角田市	450
原木しいたけ(ハウス)	2月24日	丸森町	420
ねぎ(路地)	3月1日	柴田町	不検出
キャベツ(露地)	3月1日	大河原町	不検出
ほうれんそう(ハウス)	3月8日	角田市	不検出
原木しいたけ(露地)	3月8日	丸森町	660
つぼみ菜(ハウス)	3月9日	丸森町	不検出
厚生労働省が定める暫定規制値 (4月1日からの新基準値)			500 (100)

※放射性ヨウ素はすべて不検出

■安全性を確保するための農地土壌の対策

県では、平成24年度に作付けされる農産物の安全性を確保するため、農地の土壌に含まれる放射能を測定しました。柴田町は、特別措置法に基づく汚染状況重点調査地域に指定される可能性の高い市町村に隣接しているため、農地土壌の放射能の高い市町村に隣接しているため、農地土壌の放射能の調査を行いました。農地土壌における放射性セシウム濃度は、稲の作付け制限の基準である、土壌中放射性セシウム濃度の上限値5000ベクレル/kgをすべて下回りました。

放射性物質調査の重点地域となつています。このため、おおむね耕地面積100haにつき1点、町内全体で12点の調査を行いました。農地土壌における放射性セシウム濃度は、稲の作付け制限の基準である、土壌中放射性セシウム濃度の上限値5000ベクレル/kgをすべて下回りました。

農地土壌の放射性物質調査結果【採取日：1月23日(月)】

(単位：ベクレル/kg)

土壌の採取場所	地目	放射性セシウム	土壌の採取場所	地目	放射性セシウム
入間田字大畑	水田	317	四日市場字雨沼	畑地	216
葉坂字溜水	樹園地	262	四日市場字上山根	畑地	283
成田字入	水田	311	富沢字田中前	水田	475
船迫字新朴木	水田	600	入間田字中川北	水田	348
槻木字新松崎	水田	563	中名生字八幡	水田	1,310
槻木字下川前	畑地	279	船岡字清住町	水田	409

■牧草の利用自粛

2月3日から牛に与える飼料の暫定許容値が300ベクレル/kgから100ベ

町では、平成24年産米の安心・安全を図るため、放射性セシウムの吸収抑制として効果のある塩化カリウムを水稲生産農家へ配布し散布を実施します。



■安心して飲める水道水

町の水道水は、すべて七ヶ宿ダムの水を南部山浄水場(仙南・仙塩広域水道事務所)から各家庭に配水しています。この間外気に触れることは一切ありません。水道水の放射性物質の測定については、町に送水する

クレル/kgに引き下げられました。これを受け、柴田町では2月24日に平成23年と平成24年に生産された牧草の利用が自粛になりました。3月2日には旧南郷町と旧河北町を除く県内全域が利用の自粛となっております。県では、24年産の牧草を平成24年5月以降に調査を行い、新暫定許容値を下回れば自粛解除する方針です。

水道水の放射能測定結果【採取日：3月16日(月)】

(単位：ベクレル/kg)

採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
仙南・仙塩広域水道 南部山浄水場(白石市)	不検出 (検出下限値 0.3)	不検出 (検出下限値 0.4)
厚生労働省が定めた暫定規制値 (4月1日からの新基準値)	300 ※乳児の飲用 100	200 (10)

※検査は宮城県企業局

■小中学校のプールの水も測定
プールを使用する際は、事前に水質検査を実施し、安全が確認されたら使用するようにしています。昨年は、専門機関に検査を依頼したところ、放射能は不検出でした。

水道水を県が測定して公表しています。放射性ヨウ素・放射性セシウムともに不検出となっておりますので安心して使用していただけます。

5 今後の取り組み

■汚染状況重点調査地域に指定されなかった理由

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別処置法が平成23年8月30日に制定され、これに基づき国、地方公共団体が除染

などの対応を行うことになりました。

文部科学省の航空機モニタリング調査で町は、毎時0・23マイクロシーベルト以下でした。局所的に高い空間放射線量を示す地点（マイクロスポット）がありますが、面的な広がりがありませんが、面的な広がりがあるため、汚染状況重点調査地域の指定は受けませんでした。

今後、要件が緩和された場合、基準に従って申請をしていきます。

■幼児・児童施設などの低減化対策（除染）

平成24年度で新たに放射能対策費の予算を設け、毎時0・23マイクロシーベルトを超えるマイクロスポットがある幼児・児童施設について、放射能の低減化を図る町独自の対策を行います。

■放射線・放射能測定強化

町では、空間放射線量を測定する放射線モニタを新たに4台購入し、要請の

焼却灰の取り扱い

薪ストーブや風呂焚きで発生した薪の焼却灰については、環境省からの指導により、次の取り扱いとなります。

① 400 ベクレル/kg 未満

土壌改良材として畑などに散布が可能です。

② 400 ~ 8,000 ベクレル/kg 未満

一般廃棄物として町が回収します。その後、大河原衛生センターで再度燃焼させて、最終的には白石の最終処分場で処理されます。

③ 8,000 ベクレル/kg 以上

指定廃棄物として国が処分します。（当分の間、自宅で保管）

町が、放射能測定をした後に8,000ベクレル/kg未満の焼却灰を回収しますが、現在、その準備を進めているところです。回収の方法や日程が決まるまでは、焼却灰を風雨にあたらぬようビニール袋などに入れて、人が近寄らない場所に保管をお願いします。




柴田町役場駐車場に設置された可搬型モニタリングポスト
測定値がリアルタイムで表示されます

あった町民の自宅で、職員が放射線量を測定し、不安解消に努めています。また、2月27日に文部科学省により、空間放射線を常時測定する可搬型モニタリングポストが柴田町役場駐車場に設置されました。今後、文部科学省のホームページで測定結果をリアルタイムに確認することができます予定です。

食品などの放射能測定についても、現在1台で測定を行っていますが、さらに県から放射能測定器1台を貸与できる見込みとなっています。

お問い合わせ先

- ・町民環境課（定点測定、焼却灰および放射能対策に関すること） ☎ 55-2113
 - ・教育総務課（学校施設に関すること） ☎ 55-2134
 - ・子ども家庭課（児童福祉施設に関すること） ☎ 55-2115
 - ・都市建設課（公園に関すること） ☎ 55-2121
 - ・農政課（農林畜産物に関すること） ☎ 55-2122
 - ・上下水道課（水道水に関すること） ☎ 55-2119
- ◎最新のデータは町ホームページに掲載しています
URL <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

携帯版  放射能情報サイトみやぎ
下記の方法で携帯電話でもご利用になれます。

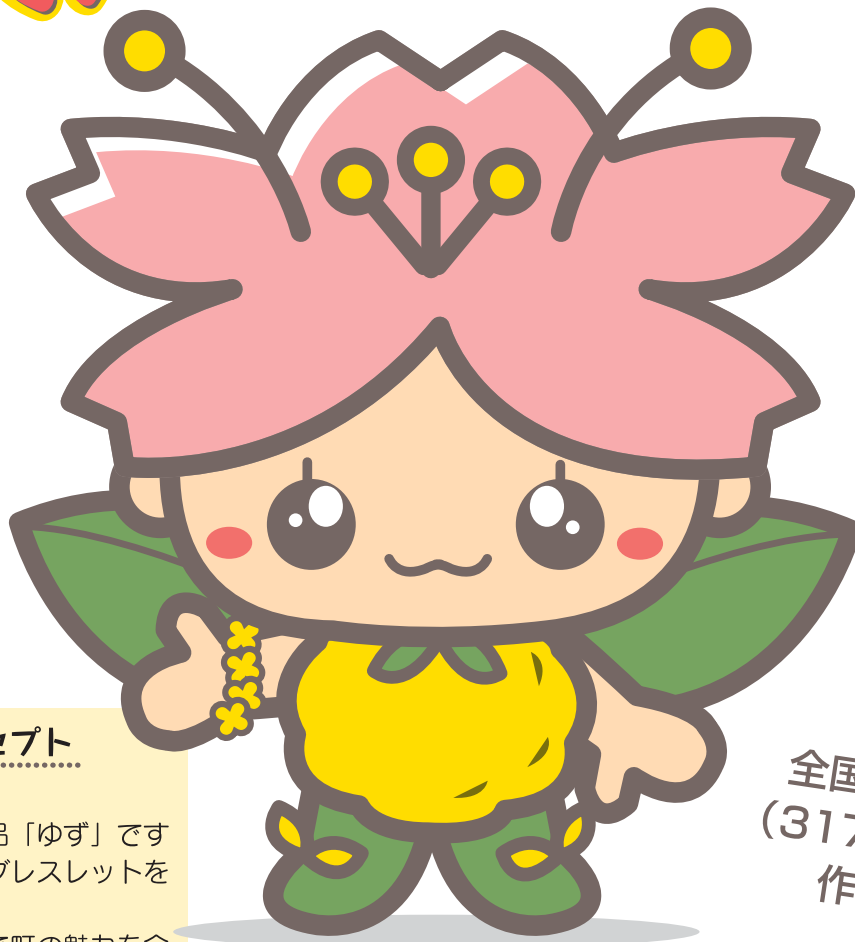
- (1) URLを直接入力する
<http://www.r-info-miyagi.jp/m/>
- (2) QRコードを利用できる端末の場合は右のQRコードよりアクセスできます。



花のまちイメージキャラクター
「ゆるキャラ」のデザインが

決定!!

観光客をはじめとする町への来訪者（交流人口）の増加促進を目的に、みなさんに愛される町のイメージキャラクター（ゆるキャラ）のデザインを募集したところ、塩崎まさよさん（大阪府）の作品に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。



デザインコンセプト

- ✿ 花の妖精です
- ✿ 体は町の特産品「ゆず」です
- ✿ 右手には花のプレスレットをしています
- ✿ 頭のアンテナで町の魅力を全国に発信します

全国から425点
(317人、1団体)の
作品が応募

デザインの募集から決定までの経緯

応募された作品は、柴田町の特徴がよく表わされた力作ぞろいでした。デザインのモチーフとされた町の素材は「桜」、「ゆず」、「きく」の順に多く、そのほか「観音様」、「犬」、「キジ」などもありました。

審査は、住民や大学生が中心の「花のまちイメージキャラクター選定委員会」（10人）により厳正に行われました。選定委員会では、末永く愛されるキャラクターのデザインは「子どもからの人気」が必要であると考え、2次審査に残った10作品について町内の小学生372人にアンケート調査を行いました。この結果を踏まえて、選定委員会から8作品を最優秀作品候補として町長へ報告し、作品最優秀賞が決定されました。



花のまちイメージキャラクター選定委員による審査

デザイン決定までの流れ

一次審査

全425作品からデザイン性に優れる72作品を選定

二次審査

1次審査で選定された72作品から、総合的に優れている10作品を選定

小学生アンケート調査

三次審査の参考とするため、小学生が好むキャラクターを調査



柴田小学校でのアンケート調査

三次審査

アンケート調査結果を踏まえて、最優秀作品の候補となる8作品を選定して町長へ報告

最優秀作品決定

ゆるキャラの活用方法

今後、ゆるキャラを地域経済の活性化に向けた観光客の誘致促進や町の魅力を効果的にアピールするため、町ホームページや各種パンフレットへ掲載し活用していきます。

また、着ぐるみは、一般社団法人柴田町観光物産協会が夏までに制作して、町内などで開催されるイベントや物産展、観光キャンペーンなどに登場する予定です。

■ゆるキャラのデザイン使用について

ゆるキャラのデザインを使用する場合は、町への使用申請が必要となります。詳しくは、まちづくり政策課へお問い合わせください。

ゆるキャラの愛称を募集します!!

●応募期限／5月8日(火)※郵送の場合は5月8日消印有効

●応募資格／

- 平成24年4月1日現在、町内に住所を有する方
- 平成24年4月1日現在、町内へ通勤または通学されている方
- 上記条件のいずれかを満たす方が代表を務める団体(企業、サークル活動団体、友人仲間など)

●応募規定／

- 花のまちイメージキャラクターの「愛称」の募集です。文字の大きさ、書体、色は関係ありません。
- 応募できる愛称は、未発表のもので、他のキャラクターや商品など同一または類似していないものに限りです。(第三者が、法令に基づく意匠権、商標権、著作権等の権利を有している著作物を利

用しないこと。)

- 応募できる数は、個人、団体ともに1点です。

●応募方法／応募用紙により、まちづくり政策課または槻木事務所へ直接提出してください。郵送の場合は、まちづくり政策課へ送付してください。

●募集要項・応募用紙／槻木事務所、生涯学習センター、まちづくり推進センターに備え置きしています。また、町ホームページにも掲載しています。

●賞／最優秀賞1点 ※入賞者には記念品を贈呈

●審査方法／柴田町イメージキャラクター選定委員会が厳正に選考します。

●結果発表／広報紙やホームページなどで発表します。また、最優秀賞に選ばれた方に直接ご連絡します。

◎詳しくは、募集要項をご覧ください。

お問い合わせ先

まちづくり政策課 ☎ 54-2111 〒 989-1692 柴田町船岡中央2丁目3-45



柴田町長 滝口 茂

いよいよ柴田町の桜がよみがえるときがやってきました。2年ぶりの桜まつりは4月6日からのスタートです。

私たちには見慣れたお花見でも、旅行者から見ると魅力的な旅行商品になるようです。最近人気のあるツアーの一つに、東北三大桜巡りがあります。福島県三春の滝桜から秋田県角館のしだれ桜を経て、青森県弘前公園のソメイヨシノに向かうものです。船岡城址公園の桜見物は、ツアーの途中にちよつと立ち寄る程度の扱いです。それでも年々観光バスは増えてきています。

柴田町の桜の魅力は、なんといつても80年余りも風雪に耐え、今もなお薄紅色の花を咲かせるソメイヨシノの老木です。多くの観光客から、年輪を重ねた老木に出会って「元気をもらった」という感想が寄せられています。

できたら、大震災で被災した人たちにも、大地にしっかりと根を下ろし必死に花を咲かせようとしている老木のたくましさに触れていただき、再び生

しばた桜まつり

きる力を取り戻してほしいと願っています。

村井知事も宮城県復興のポイントは観光の再生にあるとして、東北という広いエリアでの広域観光戦略を展開しようとしています。4月からJ&Rと協力して仙台・宮城「伊達な旅」春キャンペーンが実施されます。その中で期待を寄せられているのが

「花のまち柴田」による新しい観光まちづくりです。

今年の桜まつりについては、全国の旅行や女性雑誌の「じゃらん（リクルート）」「ゆうゆう（主婦の友社）」「オズトラベル（スターツ出版）」に掲載されました。また、仙台駅3階みどりの窓口前の情報発信ギャラリーでもPRに努めていますので、予想以上のお客様が訪れるものと期待しています。

今後、仙台空港から30分の所に位置する地の利を活かし、日本三景松島との連携を図りながら、海外特に中国からの桜巡りツアーを誘致して行きます。

私たちの桜並木は、世界に誇れるすばらしい景観であることを再認識したいと思います。

みやぎ県南中核病院 からののお知らせ

問 みやぎ県南中核病院 ☎51-5500 <http://www.southmiyagi-mc.jp/>

駐車場の変更について



現在、当院では増築工事が進行しております。これに伴い駐車場の変更を行っています。時間外駐車場は病院北側に設けておりますが、台数に限りがあります。お見舞いの方は、正面の外来駐車場にお停めいただきますようお願いいたします。また、時間外駐車場が満車の場合も、正面の外来駐車場をご利用ください。なお、駐車場以外への駐停車は、緊急車両などの通行の妨げとなりますので絶対にお止めください。

工事期間中、ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

広 告

広 告



4月下旬稼働予定!

インターネットで蔵書検索ができるようになります

今年度より、町ホームページの図書館サイト内に、所蔵している本の検索ができる蔵書検索システムを立ち上げます。検索システム稼働後は、本の「有・無」はもちろんのこと、「貸出可・貸出中」などの所蔵情報もリアルタイムで確認できるようになります。

蔵書検索システムの稼働は、4月下旬（4月中旬実施の蔵書整理点検終了後）を予定しています。どうぞご利用ください。



蔵書検索システムの画面（開発中）。町ホームページの図書館サイトから利用できるようになります▶

4月の特集 新生活応援します

4月の特集は、3月に引き続き、新生活応援のための本を集めます。入学準備やお弁当作りの本、引っ越しや一人暮らしの極意、ビジネスマナーの本など、新生活に役立つ本を集めています。図書館の本で「チェンジ」の春にひと工夫してみては？

4月のお話し会

日時／4月28日(土) 11:00～12:00 ※事前の申し込みは必要ありません。
 場所／柴田町図書館（ふるさと文化伝承館1階奥の「和室」）
 協力／絵本読み聞かせの会「おむすびころりん」

蔵書整理点検のため休館します

4月13日(金)から23日(月)まで、蔵書整理点検実施のため休館します。なお、本の返却は玄関前の「返却ポスト」をご利用ください。

蔵書整理点検って？ いわゆる本の棚卸作業を行います。本のバーコードを1冊ずつ機器でなぞり、所蔵資料が紛失していないか、本来あるべき場所に正しく整列しているかなどをデータ照合します。町民の共有財産である資料を管理し、確実かつ迅速に提供できるようにするために欠かせない年1回の作業です。

柴田町図書館「4月」の休館日						
※太字が休館日です						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
開館時間						
平日 10:00～19:00						
土・日曜日、祝日 10:00～17:00						

問 柴田町図書館（しばたの郷土館・ふるさと文化伝承館内）
 ☎ 86-3820 FAX86-3821 Eメール :library@town.shibata.miyagi.jp

広 告

広 告

まちかど NEWS



卒業記念に「大地讃頌」と「旅立ちの日に」を合唱



学校での思い出を胸に受け取る卒業証書

苦楽を共にした学び舎に別れ

NEWS

3月10日・13日に、町内の3つの中学校で卒業式が行われました。船岡中学校では、13日に行われ、卒業生149人が、一人ひとり担任の先生から名前を呼ばれ、船迫校長から卒業証書を受け取りました。卒業生を代表して大槻優花さんが高校受験について「友達と励まし合いながら頑張りました」と語り、在校生へは「自分の気持ちを信じていけば道は切り開けます」と答辞を述べました。

新校舎建設の安全を祈願して

NEWS

槻木中学校の新校舎建設を前に安全祈願祭が2月25日、同校で佐藤校長はじめ、滝口町長、阿部教育長、工事関係者など20人が出席して行われました。新校舎は、鉄筋コンクリート造2階建てで、平成25年2月に完成する予定です。安全祈願祭で滝口町長は「工期が短い中、安全に工事を進めてほしい。生徒が新しい環境の中で、地域を引っ張って行くような教育の場になりたい」とあいさつしました。



大雪の中、テントを張り安全祈願祭が行われました

広 告

広 告

交通死亡事故ゼロ | 年を達成

2月27日、大河原警察署の菅原署長が役場を訪れ、宮城県警察本部長からの讃辞を滝口町長へ伝達しました。これは、昨年2月25日の夕方、槻木上町の町道で85歳の女性が軽自動車にはねられ死亡した事故を最後に、町内での死亡事故が1年間ゼロだったことを顕彰し贈られたものです。滝口町長は「関係機関と協力して、死亡事故ゼロ500日を目指し努力します」と決意を述べました。



地域ぐるみで町の交通事故を防止します

住民を災害から守るために

小型消防ポンプ付積載車の交付式が3月2日、大粒の雪が降る中、役場構内で行われました。これは、船岡地区第1分団第5班で長年活躍した消防車が、老朽化に伴い最新の消防車に更新されたものです。交付式には、柴田町消防団と関係者が出席。町長から団長、団長から分団長へ交付が行われました。団長は「今後、一つでも災害が減るよう新しい消防車での活躍に期待をしたい」と訓示をしました。



最新の機材が搭載された消防車

きれいな歌声で桃の節句を祝う

槻木保育所で3月2日、柴田童謡愛好会によるひなまつりミニコンサートが開かれました。美しい日本語で作詞された童謡を伝えたいと、33人のおじさんやおばさんたちが「どこかで春が」、「ドレミの歌」などの童謡をピアノやハンドベルの演奏に合わせて合唱しました。また、児童と一緒にアンパンマンなどの歌で手遊びをし、最後には「うれしいひなまつり」を元気いっぱい大合唱しました。



子どもたちは、目を輝かせて合唱に夢中でした

広 告



夢空間 2012



女王の番犬 (ペンネーム)



花ちゃん (ペンネーム)



お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とても素敵な方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2012)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで4月13日(金)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

こども美術館



「ヤー!!!」
船岡小学校5年
山中香澄さん



「もえる南中ソーラン」
船岡小学校5年
大槻若菜さん

広 告

広 告

広 告

広 告